

平成 28 年度決算説明資料

目次

I 平成 28 年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要	2P
② 平成 27 年度決算との比較（病院別）	3P

II 平成 28 年度資産・負債・資本及び留保資金の状況について

1 資産・負債・資本の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について	9P
3 企業債（移行前地方債債務）・長期借入金の状況	10P
4 留保資金の状況	10P

資料編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況	12P
(2) 収入の状況	13P
(3) 支出の状況	18P

I 平成 28 年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

平成 28 年度の収支決算は、収入の 552.0 億円に対し、支出は 561.1 億円で、差引損益は、▲9.1 億円の赤字となった。

なお、この赤字▲9.1 億円は、当年度の積立金残高 5.3 億円を取崩すこととし、なお不足する▲3.8 億円については、繰越欠損金として処理する予定である。

(表 1) 平成28年度収支決算

単位:億円

区 分		合 計 一般 1,482床 精神 28床 感染症 16床 計 1,526床	病 院 別				
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 527床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名	
収 入	医 業 収 益	入院収入	344.9	200.4	112.5	16.6	15.4
		外来収入	144.1	89.0	43.2	11.4	0.5
		計	489.0	289.4	155.7	28.0	15.9
		その他	8.0	3.9	1.9	1.9	0.3
		小 計	497.0	293.3	157.6	29.9	16.2
	運営費負担金・交付金	47.2	18.6	8.7	13.5	6.4	
	その他	7.8	4.2	1.5	1.1	1.0	
	合 計	552.0	316.1	167.8	44.5	23.6	
支 出	給与費	283.3	152.8	90.0	23.5	17.0	
	材料費	161.0	105.8	48.7	6.0	0.5	
	減価償却費	41.9	23.1	12.3	4.1	2.4	
	その他	74.9	39.7	20.5	9.4	5.3	
	合 計	561.1	321.4	171.5	43.0	25.2	
差引損益		▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 3.7	1.5	▲ 1.6	

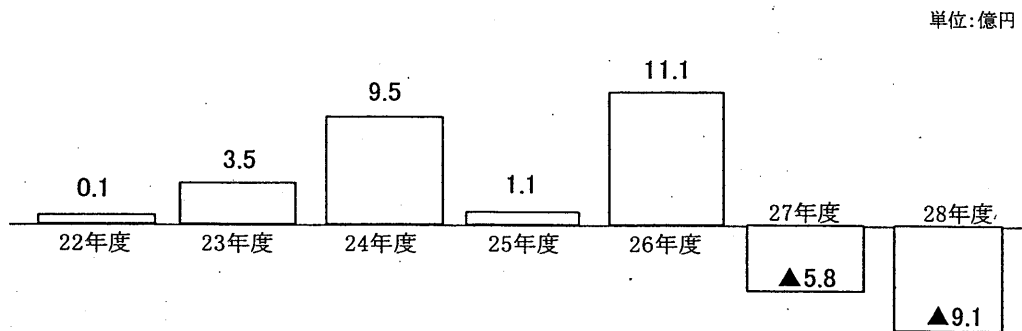
※ 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。
(按分比広島 46.0%、安佐 28.6%、舟入 13.8%、リハ 11.6%)

(2) 収支の推移

① 概要

平成 22 年度以降、平成 26 年度まで 5 年連続の黒字を維持していたが、平成 27 年度に 4 病院とも収支が悪化し、機構全体で▲5.8 億円の赤字を計上した。平成 28 年度は、舟入市民病院が収支改善したものの、他の病院は、さらに収支が悪化し、前年度の赤字を上回る▲9.1 億円の赤字となった。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

単位:億円

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	0.4	3.9	6.1	1.8	5.6	▲4.3	▲5.3
安佐市民病院	4.6	5.0	8.8	4.7	5.8	0.0	▲3.7
舟入市民病院	▲1.9	▲2.3	▲2.3	▲2.4	1.0	0.0	1.5
リハビリテーション病院	▲3.0	▲3.1	▲3.1	▲3.0	▲1.3	▲1.5	▲1.6
計	0.1	3.5	9.5	1.1	11.1	▲5.8	▲9.1

② 平成 27 年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

入院収入は、手術件数が増えたことなどにより 3.1 億円増。外来収入は、患者数は増加したものの、高額な C 型肝炎新薬の使用の減少により▲3.1 億円減（C 型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと 0.8 億円増）。運営費負担金・交付金は、救急医療繰入の増などにより 1.1 億円増。

これらにより、収入合計は、前年度に比べ 1.0 億円増。

支出については、給与費は増員などにより 4.0 億円増。材料費は、高額な C 型肝炎新薬の使用の減少などにより▲2.6 億円減。（C 型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと 0.8 億円増）。減価償却費は、東棟（平成 18 年 5 月稼働）にかかる設備の償却費の減などにより▲0.3 億円減。その他の支出は電子カルテシステムに係る保守の増などから 0.9 億円の増となり、支出合計は前年度に比べ 2.0 億円増。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲1.0 億円減の▲5.3 億円の赤字となった。

(表 3) 収支の推移

単位:億円

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収入	入院収入	184.9	187.8	195.8	(197.3)	(199.9)
	対前年度増減	-	2.9	8.0	(1.5)	(2.6)
	外来収入	68.4	70.8	76.1	(80.7)	(81.5)
	対前年度増減	-	2.4	5.3	(4.6)	(0.8)
	小計	253.3	258.6	271.9	(278.0)	(281.4)
	対前年度増減	-	5.3	13.3	(6.1)	(3.4)
	その他	5.8	5.7	5.1	4.3	3.9
	対前年度増減	-	▲0.1	▲0.6	▲0.8	▲0.4
	計	259.1	264.3	277.0	293.7	293.3
	運営費負担金・交付金	14.9	12.4	17.2	17.5	18.6
対前年度増減	-	▲2.5	4.8	0.3	1.1	
その他	4.2	4.6	4.4	3.9	4.2	
対前年度増減	-	0.4	▲0.2	▲0.5	0.3	
合計	278.2	281.3	298.6	315.1	316.1	
対前年度増減	-	3.1	17.3	16.5	1.0	
支出	給与費	131.8	134.0	143.2	148.8	152.8
	対前年度増減	-	2.2	9.2	5.6	4.0
	材料費	81.3	87.3	92.2	(97.3)	(98.1)
	対前年度増減	-	6.0	4.9	(5.1)	(0.8)
	減価償却費	21.7	19.8	18.8	23.4	23.1
	対前年度増減	-	▲1.9	▲1.0	4.6	▲0.3
	その他	37.3	38.4	38.8	38.8	39.7
	対前年度増減	-	1.1	0.4	0.0	0.9
合計	272.1	279.5	293.0	319.4	321.4	
対前年度増減	-	7.4	13.5	26.4	2.0	
差引損益	6.1	1.8	5.6	▲4.3	▲5.3	
対前年度増減	-	▲4.3	3.8	▲9.9	▲1.0	

※1 27年度及び28年度の()の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を入院収入から27年度500万円、28年度0.5億円、外来収入から27年度11.4億円、28年度7.5億円、材料費から27年度11.1億円、28年度7.7億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支2.9億円を除いている。

(イ) 安佐市民病院

入院・外来収入は、患者数が増加したことなどにより、入院収入が3.5億円増（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと4.0億円増）、外来収入が2.1億円増（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと1.9億円増）となり、収入合計は前年度に比べ5.4億円増。

支出については、給与費は増員などにより4.9億円増。材料費は、患者数の増などにより0.8億円増（C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬を除くと0.9億円増）。減価償却費は、電子カルテシステムや手術用ロボット「ダヴィンチ」に係る償却費の増などにより1.5億円増。その他の支出は電子カルテシステムに係る保守の増などにより1.9億円の増となり、支出合計は前年度に比べ9.1億円増。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲3.7億円の減の▲3.7億円の赤字となった。

(表4) 収支の推移

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収入	入院収入	103.0	103.0	109.6	(107.5)	(111.5)
	対前年度増減	-	0.0	6.6	(▲2.1)	(4.0)
	外来収入	34.2	34.6	36.9	(38.1)	(40.0)
	対前年度増減	-	0.4	2.3	(1.2)	(1.9)
	小計	137.2	137.6	146.5	(145.6)	(151.5)
	対前年度増減	-	0.4	8.9	(▲0.9)	(5.9)
	その他	2.0	1.9	2.0	3.6	5.6
	計	139.2	139.5	148.5	150.1	155.7
	運営費負担金・交付金	9.0	7.3	7.9	4.2	2.1
	対前年度増減	-	▲1.7	0.6	1.0	▲0.2
	その他	1.4	1.6	1.7	1.9	1.9
	対前年度増減	-	0.2	0.1	▲0.2	0.0
	合計	149.6	148.4	158.1	152.0	167.8
	対前年度増減	-	▲1.2	9.7	4.3	5.4
支出	給与費	75.7	77.8	82.7	85.1	90.0
	対前年度増減	-	2.1	4.9	2.4	4.9
	材料費	38.4	38.9	42.0	(43.7)	(44.6)
	対前年度増減	-	0.5	3.1	(1.7)	(0.9)
	減価償却費	7.4	7.7	8.4	47.9	48.7
	対前年度増減	-	0.3	0.7	5.9	0.8
	その他	19.3	19.3	19.2	10.8	12.3
	対前年度増減	-	0.0	▲0.1	▲0.6	1.9
	合計	140.8	143.7	152.3	162.4	171.5
	対前年度増減	-	2.9	8.6	10.1	9.1
差引損益	8.8	4.7	5.8	0.0	▲3.7	
対前年度増減	-	▲4.1	1.1	▲5.8	▲3.7	

※1 27年度及び28年度の()の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を入院収入から27年度1.5億円、28年度1.0億円、外来収入から27年度3.0億円、28年度3.2億円、材料費から27年度4.2億円、28年度4.1億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支1.7億円を除いている。

(7) 舟入市民病院

入院収入は、患者数が増加したことにより 0.5 億円増。一方、外来収入は、患者数の減により▲0.2 億円減。その他収入は、人間ドック受診者の増などにより 0.5 億円増。運営費負担金・交付金は、元金償還金繰入の増などにより 0.7 億円増となり、収入合計は前年度に比べ 1.6 億円増。

支出については、給与費は、増員などにより 0.4 億円増。材料費は、抗がん剤の使用の減などにより▲0.3 億円減。減価償却費は、電子カルテシステムに係る償却費の増などにより 0.4 億円増。その他の支出は電子カルテシステム導入に伴うデータ移行経費の皆減などにより▲0.4 億円減となり、支出合計は前年度に比べ 0.1 億円増。

その結果、差引損益は、前年度に比べ 1.5 億円増の 1.5 億円の黒字となった。

(表 5) 収支の推移

単位:億円

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収 入	入院収入	14.7	14.2	15.5	16.1	16.6
	対前年度増減	-	▲ 0.5	1.3	0.6	0.5
	外来収入	11.5	11.1	11.7	11.6	11.4
	対前年度増減	-	0.0	0.6	▲ 0.1	▲ 0.2
	小計	26.2	25.3	27.2	27.7	28.0
	対前年度増減	-	▲ 0.9	1.9	0.5	0.3
	その他	1.0	1.0	1.0	1.4	1.9
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.4	0.5
	計	27.2	26.3	28.2	29.1	29.9
	運営費負担金・交付金	7.9	8.0	10.2	12.8	13.5
	対前年度増減	-	0.1	2.2	2.6	0.7
	その他	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1
	対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0	0.1
	合計	36.0	35.2	39.4	42.9	44.5
対前年度増減	-	▲ 0.8	4.2	3.5	1.6	
支 出	給与費	19.2	18.6	20.6	23.1	23.5
	対前年度増減	-	▲ 0.6	2.0	2.5	0.4
	材料費	5.3	5.1	5.8	6.3	6.0
	対前年度増減	-	▲ 0.2	0.7	0.5	▲ 0.3
	減価償却費	4.4	4.4	2.7	3.7	4.1
	対前年度増減	-	0.0	▲ 1.7	1.0	0.4
	その他	9.4	9.5	9.3	9.8	9.4
	対前年度増減	-	0.1	▲ 0.2	0.5	▲ 0.4
合計	38.3	37.6	38.4	42.9	43.0	
対前年度増減	-	▲ 0.7	0.8	4.5	0.1	
差引損益	▲ 2.3	▲ 2.4	1.0	0.0	1.5	
対前年度増減	-	▲ 0.1	3.4	▲ 1.0	1.5	

※ 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない継ぎ消耗品にかかる収支0.3億円を除いている。

(I) リハビリテーション病院・自立訓練施設

入院・外来収入は、患者数が増加したことなどにより0.2億円増。運営費負担金・交付金はリハビリテーション医療繰入の減などにより▲0.6億円減となり、収入合計は前年度に比べ▲0.4億円減。

支出については、給与費は増員などにより0.4億円増。減価償却費は電子カルテシステムにかかる償却費の増などにより0.3億円増。その他の経費は電子カルテシステム更新に伴うデータ移行経費の皆減などにより▲1.0億円減となり、支出合計は前年度に比べ▲0.3億円減。

その結果、差引損益は、前年度に比べ▲0.1億円減の▲1.6億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

単位:億円

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収 入	入院収入	12.7	13.0	15.3	15.3	15.4
	外来収入	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5
	小計	13.0	13.3	15.7	15.7	15.9
	対前年度増減	-	0.3	2.4	0.0	0.2
	その他	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
	計	13.2	13.6	16.0	16.0	16.2
	運営費負担金・交付金	4.6	4.7	5.7	7.0	6.4
	対前年度増減	-	0.1	1.0	1.3	▲0.6
	その他	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	18.8	19.3	22.7	24.0	23.6	
対前年度増減	-	0.5	3.4	1.3	▲0.4	
支 出	給与費	12.8	13.2	15.5	16.6	17.0
	対前年度増減	-	0.4	2.3	1.1	0.4
	材料費	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	減価償却費	3.1	3.0	2.0	2.1	2.4
	対前年度増減	-	▲0.1	▲1.0	0.1	0.3
	その他	5.5	5.6	6.0	6.3	5.3
	対前年度増減	-	0.1	0.4	0.3	▲1.0
合計	21.9	22.3	24.0	25.5	25.2	
対前年度増減	-	0.4	1.7	1.5	▲0.3	
差引損益	▲3.1	▲3.0	▲1.3	▲1.5	▲1.6	
対前年度増減	-	0.1	1.7	▲0.2	▲0.1	

※ 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支0.4億円を除いている。

Ⅱ 平成 28 年度資産・負債・資本及び留保資金の状況について

1 資産・負債・資本の状況

(1) 固定資産

固定資産は、職員寮改修その他工事や高精度放射線治療システム購入などにより 28.7 億円増加したものの、有価証券の流動資産への振替により▲72.8 億円の減、このほか減価償却により▲41.9 億円減少したことなどから▲86.7 億円減の 552.4 億円となった。

(2) 流動資産

流動資産は、有価証券の固定資産からの振替により 72.8 億円の増、医療機器購入の財源として留保資金を活用したことによる▲9.8 億円の減などにより 57.4 億円増の 231.6 億円となった。

(3) 固定負債

固定負債は、施設整備や医療機器購入などの財源として、広島市から長期借入金を借り入れ 43.3 億円増加したものの、一年以内に返済予定の長期借入金及び移行前地方債償還債務を流動負債に振り替えたことにより▲49.3 億円減少したことなどから▲5.7 億円減の 476.1 億円となった。

(4) 流動負債

流動負債は、施設整備、医療機器購入などに係る未払金、一年以内に返済予定の移行前地方債償還債務がともに減少したことなどにより▲15.3 億円減の 115.3 億円となった。

(5) 資本金

期首の法人設立時の広島市からの出資金 193.9 億円から増減はない。

(6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより 0.8 億円を計上し 2.5 億円となった。

(7) 利益剰余金

病院施設の整備、医療機器の購入、人材育成及び能力開発のための研修・教育などに充てる積立金は、前年度の赤字▲5.8 億円を取崩した残額 5.3 億円を計上し、当期未処理損失は収支決算の赤字額▲9.1 億円を計上した。

(表7) 貸借対照表(全体)

単位:億円

区 分		期 首 (28年4月1日)	期 末 (29年3月31日)	増 ▲ 減
資 産				
固 定 資 産	産	639.1	<u>552.4</u>	▲ 86.7
流 動 資 産	産	174.2	<u>231.6</u>	57.4
現 金 預 金	金	76.4	64.3	▲ 12.1
未 収 金	金	95.0	91.3	▲ 3.7
そ の 他	他	2.8	76.0	73.2
合 計		813.3	784.0	▲ 29.3
負 債				
固 定 負 債	債	481.8	<u>476.1</u>	▲ 5.7
流 動 負 債	債	130.6	<u>115.3</u>	▲ 15.3
未 払 金	金	54.9	51.7	▲ 3.2
そ の 他 流 動 負 債	債	75.7	63.6	▲ 12.1
計		612.4	591.4	▲ 21.0
資 本				
資 本 金	金	193.9	193.9	0.0
設 立 団 体 出 資 金	金	193.9	<u>193.9</u>	0.0
資 本 剰 余 金	金	1.7	<u>2.5</u>	0.8
利 益 剰 余 金	金	5.3	▲ 3.8	▲ 9.1
病院施設の整備、医療機器 の購入、人材育成及び能力 開発のための研修・教育な どに充てる積立金		11.1	<u>5.3</u>	▲ 5.8
当 期 未 処 理 損 失		▲ 5.8	▲ 9.1	▲ 3.3
計		200.9	192.6	▲ 8.3
合 計		813.3	784.0	▲ 29.3

2 施設整備・医療機器等購入について

(1) 概要

施設整備・医療機器等購入については、中期計画で安佐市民病院の建替えにかかる整備費を除き 26～29年度の事業費総額 147.8 億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

このうち、28年度の決算額は 28.7 億円で、26～28年度までの合計は 114.3 億円となり、中期計画との差額は 33.5 億円である。

なお、決算額 28.7 億円の財源としては、広島市からの長期借入のほか、医療機器等購入については、広島市民病院が 9.6 億円、安佐市民病院が 0.2 億円、合計 9.8 億円の留保資金を活用した。

(2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が職員寮改修その他工事外 6.6 億円、安佐市民病院がエレベーター設備工事外 1.2 億円、舟入市民病院が本館 2 階外 4 か所便所改修工事外 0.7 億円の合計 8.5 億円を行った。

(3) 医療機器等購入

医療機器等購入は、広島市民病院が高精度放射線治療システム外 18.1 億円、安佐市民病院が脳神経外科手術システム外 1.5 億円、舟入市民病院が超音波診断装置外 0.5 億円、リハビリテーション病院が発声・発語訓練装置外 0.1 億円の合計 20.2 億円を行った。

(表 8) 平成28年度施設整備・医療機器等購入の内訳

単位: 億円

区分	中期計画 ①	26・27年度 決算 ②	28年度決算 ③	合計 ④ (②+③)	差引 ①-④	財源	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	26.7	15.1	<u>6.6</u>	21.7	5.0	長期借入金	職員寮改修その他工事外
	医療機器等購入	(34.1)	(19.7)	<u>(9.6)</u>	(29.3)	(4.8)	留保資金 長期借入金	高精度放射線治療システム外
	電子カルテ更新整備	15.2	12.6	-	12.6	2.6	長期借入金	
	計	(34.1)	(19.7)	(9.6)	(29.3)	(4.8)		
	95.2	47.4	24.7	72.1	23.1			
安佐市民病院	施設整備	5.2	2.2	<u>1.2</u>	3.4	1.8	長期借入金	エレベーター設備工事外
	医療機器等購入	(15.2)	(13.4)	<u>(0.2)</u>	(13.6)	(1.6)	留保資金 長期借入金	脳神経外科手術システム外
	電子カルテ更新整備	23.8	13.4	<u>1.5</u>	14.9	8.9	長期借入金	
	計	(15.2)	(13.4)	(0.2)	(13.6)	(1.6)		
	40.3	24.4	2.7	27.1	13.2			
舟入市民病院	施設整備	0.5	0.8	<u>0.7</u>	1.5	▲ 1.0	長期借入金	本館2階外4か所便所改修工事外
	医療機器等購入	4.6	4.5	<u>0.5</u>	5.0	▲ 0.4	長期借入金	超音波診断装置外
	電子カルテ更新整備	6.8	5.4	-	5.4	1.4	長期借入金	
	計	11.9	10.7	1.2	11.9	0.0		
リハビリテーション病院	施設整備	-	-	-	-	-		
	医療機器等購入	0.4	0.6	<u>0.1</u>	0.7	▲ 0.3	長期借入金	発声・発語訓練装置外
	電子カルテ更新整備	0.0	2.5	-	2.5	▲ 2.5	長期借入金	
	計	0.4	3.1	0.1	3.2	▲ 2.8		
合計	施設整備	32.4	18.1	<u>8.5</u>	26.6	5.8		
	医療機器等購入	(49.3)	(33.1)	(9.8)	(42.9)	(6.4)		
	電子カルテ更新整備	82.1	38.2	<u>20.2</u>	58.4	23.7		
	計	(49.3)	(33.1)	<u>(9.8)</u>	(42.9)	(6.4)		
	147.8	85.6	28.7	114.3	33.5			

※ () 内の数値は、留保資金を財源として購入した額で、下段の内数。

※安佐市民病院建替えに係る整備費6.9億円(中期計画期間中)は除いている。

3 企業債（移行前地方債債務）・長期借入金の状況

企業債（移行前地方債債務）・長期借入金については、28年度中に、43.3億円の借入れに対し62.2億円の償還を行ったため、28年度末の残高は、28年度期首残高から▲18.9億円減少し、381.8億円となった。

(表9) 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の推移

単位:億円

区 分	28年度期首残高① (企業債)	28年度中の借入・償還		28年度末残高②	28年度末・28年度期 首残高増減 ②-①
		長期借入金(増)	企業債償還(減)		
広島市民病院	235.5	15.1	20.6	230.0	▲ 5.5
安佐市民病院	41.6	2.5	9.2	34.9	▲ 6.7
舟入市民病院	58.4	1.2	5.0	54.6	▲ 3.8
リハビリテーション病院	65.2	24.5	27.4	62.3	▲ 2.9
合 計	400.7	43.3	62.2	381.8	▲ 18.9

4 留保資金の状況

留保資金を活用して、中期計画期間中にこれまで抑制的であった広島市民病院・安佐市民病院の医療機器の整備を行うことなどから、留保資金は27年度末の184.1億円から28年度末では177.4億円となった。

(表10) 28年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区 分	27年度末残高 A	28年度末残高 B	28年度末・27年度末 残高増減 B-A
広島市民病院	98.9	88.0	▲ 10.9
安佐市民病院	58.7	63.2	4.5
舟入市民病院	26.5	26.2	▲ 0.3
リハビリテーション病院	-	-	-
合 計	184.1	177.4	▲ 6.7

※リハビリテーション病院は、減価償却前収支に収支不足が生じているため、留保資金が生じない。(不足分は全額市から繰入)

資 料 編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位:億円

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収 入	入院収入	315.3	318.0	336.2	(336.2) 337.7	(343.4) 344.9
	対前年度増減	-	2.7	18.2	(0.0) 1.5	(7.2) 7.2
	外来収入	114.4	116.8	125.1	(130.8) 145.2	(133.4) 144.1
	対前年度増減	-	2.4	8.3	(5.7) 20.1	(2.6) ▲ 1.1
	小計	429.7	434.8	461.3	(467.0) 482.9	(476.8) 489.0
	対前年度増減	-	5.1	26.5	(5.7) 21.6	(9.8) 6.1
	その他	9.0	8.9	8.4	7.9	8.0
	計	438.7	443.7	469.7	490.8	497.0
	運営費負担金・交付金	36.4	32.4	41.0	46.2	47.2
	対前年度増減	-	▲ 4.0	8.6	5.2	1.0
	その他	7.5	8.1	8.1	7.4	7.8
	対前年度増減	-	0.6	0.0	▲ 0.7	0.4
	合計	482.6	484.2	518.8	544.4	552.0
	対前年度増減	-	1.6	34.6	25.6	7.6
支 出	給与費	239.5	243.6	262.0	273.6	283.3
	対前年度増減	-	4.1	18.4	11.6	9.7
	材料費	125.5	131.8	140.5	(147.8) 163.1	(149.2) 161.0
	対前年度増減	-	6.3	8.7	(7.3) 22.6	(1.4) ▲ 2.1
	減価償却費	36.6	34.9	31.9	40.0	41.9
	対前年度増減	-	▲ 1.7	▲ 3.0	8.1	1.9
	その他	71.5	72.8	73.3	73.5	74.9
	対前年度増減	-	1.3	0.5	0.2	1.4
	合計	473.1	483.1	507.7	550.2	561.1
	対前年度増減	-	10.0	24.6	42.5	10.9
差引損益		9.5	1.1	11.1	▲ 5.8	▲ 9.1
対前年度増減		-	▲ 8.4	10.0	▲ 16.9	▲ 3.3

※1 27年度及び28年度の()の数値は、薬価が高額で使用が急増したC型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」[キイトルーダ]を入院収入から27年度1.5億円、28年度1.5億円、外来収入から27年度14.4億円、28年度10.7億円、材料費から27年度15.3億円、28年度11.8億円を除いたもの。

※2 26年度の数値は、26年度法人化移行時のみに生じる、収入、支出に同額が計上され収支に影響のない承継消耗品にかかる収支5.3億円を除いている。

※3 「その他」の内訳は、

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益。
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等。
- ③ 支出の「その他」は、委託料や光熱水費等の経費、資産減耗費、研究研修費、移行前地方債利息及び雑支出。

(2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	184.9	187.8	195.8	(197.3) 197.3	(199.9) 200.4
対前年度増減	-	2.9	8.0	(1.5) 1.5	(2.6) 3.1
安佐市民病院	103.0	103.0	109.6	(107.5) 109.0	(111.5) 112.5
対前年度増減	-	0.0	6.6	(▲2.1) ▲0.6	(4.0) 3.5
舟入市民病院	14.7	14.2	15.5	16.1	16.6
対前年度増減	-	▲0.5	1.3	0.6	0.5
リハビリテーション病院	12.7	13.0	15.3	15.3	15.4
対前年度増減	-	0.3	2.3	0.0	0.1
計	315.3	318.0	336.2	(336.2) 337.7	(343.4) 344.9
対前年度増減	-	2.7	18.2	(0.0) 1.5	(7.2) 7.2

※27年度及び28年度の()の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	96.3	94.1	95.6	96.3	95.8
対前年度増減	-	▲2.2	1.5	0.7	▲0.5
安佐市民病院	87.7	84.8	87.4	84.0	85.7
対前年度増減	-	▲2.9	2.6	▲3.4	1.7
舟入市民病院	(72.9) 74.5	(75.4) 72.6	(78.8) 76.8	(76.6) 74.2	(82.9) 77.0
対前年度増減	(-) -	(2.5) ▲1.9	(3.4) 4.2	(▲2.2) ▲2.6	(6.3) 2.8
リハビリテーション病院	92.0	94.1	95.7	96.1	96.5
対前年度増減	-	2.1	1.6	0.4	0.4

※舟入市民病院の()の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	261,177	255,285	259,257	261,859	259,867
対前年度増減	-	▲5,892	3,972	2,602	▲1,992
安佐市民病院	168,774	163,212	168,208	162,072	164,893
対前年度増減	-	▲5,562	4,996	▲6,136	2,821
舟入市民病院	36,502	36,053	37,569	36,399	37,644
対前年度増減	-	▲449	1,516	▲1,170	1,245
リハビリテーション病院	33,586	34,333	34,934	35,178	35,225
対前年度増減	-	747	601	244	47
計	500,039	488,883	499,968	495,508	497,629
対前年度増減	-	▲11,156	11,085	▲4,460	2,121

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	19,617	19,656	20,776	20,869	20,781
対前年度増減	-	39	1,120	93	▲88
安佐市民病院	12,392	12,639	13,545	14,026	14,270
対前年度増減	-	247	906	481	244
舟入市民病院	3,307	3,284	3,751	3,805	3,789
対前年度増減	-	▲23	467	54	▲16
リハビリテーション病院	428	450	434	405	406
対前年度増減	-	22	▲16	▲29	1
計	35,744	36,029	38,506	39,105	39,246
対前年度増減	-	285	2,477	599	141

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	12.3	12.0	11.5	11.5	11.5
対前年度増減	-	▲0.3	▲0.5	0.0	0.0
安佐市民病院	12.6	11.9	11.4	10.6	10.6
対前年度増減	-	▲0.7	▲0.5	▲0.8	0.0
舟入市民病院	10.0	10.1	9.0	8.6	8.9
対前年度増減	-	0.1	▲1.1	▲0.4	0.3
リハビリテーション病院	77.3	76.0	79.2	95.2	91.5
対前年度増減	-	▲1.3	32	16.0	▲3.7

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	70,772	73,565	75,533	(75,342) 75,360	(76,924) 77,119
対前年度増減	-	2,793	1,968	(▲191) ▲173	(1,582) 1,759
安佐市民病院	61,021	63,105	65,181	(66,340) 67,243	(67,619) 68,209
対前年度増減	-	2,084	2,076	(1,159) 2,062	(1,279) 966
舟入市民病院	40,219	39,516	41,200	44,130	44,002
対前年度増減	-	▲703	1,684	2,930	▲128
リハビリテーション病院	37,800	37,911	43,913	43,426	43,770
対前年度増減	-	111	6,002	▲487	344

※27年度及び28年度の()の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オプジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表8) 手術件数

単位:件

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	8,530	8,628	8,718	9,097	9,301
対前年度増減	-	98	90	379	204
安佐市民病院	5,098	5,211	5,797	5,719	5,779
対前年度増減	-	113	586	▲78	60
舟入市民病院	599	610	637	583	666
対前年度増減	-	11	27	▲54	83
リハビリテーション病院	-	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-	-
計	14,227	14,449	15,152	15,399	15,746
対前年度増減	-	222	703	247	347

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	36,943	34,771	35,095	33,630	32,734
対前年度増減	-	▲2,172	324	▲1,465	▲896
安佐市民病院	10,853	9,986	11,017	11,133	10,904
対前年度増減	-	▲867	1,031	116	▲229
舟入市民病院	42,319	40,991	40,444	40,667	38,018
対前年度増減	-	▲1,328	▲547	223	▲2,649
リハビリテーション病院	-	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-	-
計	90,115	85,748	86,556	85,430	81,656
対前年度増減	-	▲4,367	808	▲1,126	▲3,774

(表10) 外来収入

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	68.4	70.8	76.1	(80.7) 92.1	(81.5) 89.0
対前年度増減	-	2.4	5.3	(4.6) 16.0	(0.8) ▲ 3.1
安佐市民病院	34.2	34.6	36.9	(38.1) 41.1	(40.0) 43.2
対前年度増減	-	0.4	2.3	(1.2) 4.2	(1.9) 2.1
舟入市民病院	11.5	11.1	11.7	11.6	11.4
対前年度増減	-	▲ 0.4	0.6	▲ 0.1	▲ 0.2
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0	0.1
計	114.4	116.8	125.1	(130.8) 145.2	(133.4) 144.1
対前年度増減	-	2.4	8.3	(5.7) 20.1	(2.6) ▲ 1.1

※27年度及び28年度の()の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表11) 外来患者数

単位:人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	415,421	411,048	419,514	430,730	434,809
対前年度増減	-	▲ 4,373	8,466	11,216	4,079
安佐市民病院	199,428	193,436	192,717	194,674	197,938
対前年度増減	-	▲ 5,992	▲ 719	1,957	3,264
舟入市民病院	96,548	90,509	91,964	88,933	85,819
対前年度増減	-	▲ 6,039	1,455	▲ 3,031	▲ 3,114
リハビリテーション病院	3,360	3,093	3,610	3,362	4,178
対前年度増減	-	▲ 267	517	▲ 248	816
計	714,757	698,086	707,805	717,699	722,744
対前年度増減	-	▲ 16,671	9,719	9,894	5,045

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	16,470	17,227	18,135	(18,732) 21,376	(18,735) 20,465
対前年度増減	-	757	908	(597) 3,241	(3) ▲ 911
安佐市民病院	17,139	17,904	19,124	(19,555) 21,089	(20,223) 21,862
対前年度増減	-	765	1,220	(431) 1,965	(668) 773
舟入市民病院	11,935	12,232	12,731	13,064	13,344
対前年度増減	-	297	499	333	280
リハビリテーション病院	10,066	10,685	11,530	12,413	11,847
対前年度増減	-	619	845	883	▲ 566

※27年度及び28年度の()の数値は、C型肝炎新薬及び新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を除いた数値

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移 (損益収支への繰入金)

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	14.9	12.4	17.2	17.5	18.6
対前年度増減	-	▲ 2.5	4.8	0.3	1.1
安佐市民病院	9.0	7.3	7.9	8.9	8.7
対前年度増減	-	▲ 1.7	0.6	1.0	▲ 0.2
舟入市民病院	7.9	8.0	10.2	12.8	13.5
対前年度増減	-	0.1	2.2	2.6	0.7
リハビリテーション病院	4.6	4.7	5.7	7.0	6.4
対前年度増減	-	0.1	1.0	1.3	▲ 0.6
計	36.4	32.4	41.0	46.2	47.2
対前年度増減	-	▲ 4.0	8.6	5.2	1.0

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移 (資本収支への繰入金)

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	10.3	5.4	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	▲ 4.9	▲ 5.4	0.0	0.0
安佐市民病院	4.8	1.9	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	▲ 2.9	▲ 1.9	0.0	0.0
舟入市民病院	3.8	3.6	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	▲ 0.2	▲ 3.6	0.0	0.0
リハビリテーション病院	3.6	2.7	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	▲ 0.9	▲ 1.5	0.0	0.0
計	22.5	13.6	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	▲ 8.9	▲ 12.4	0.0	0.0

(表14) 28年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.4	0.2	0.2	0.9	2.1
2. 救急医療	15.5	9.1	2.8	3.6	-
3. 被爆者健診	0.3	-	-	0.3	-
4. 看護師養成	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	3.8	0.0	1.8	-	2.0
6. 感染症医療	0.5	-	-	0.5	-
7. 小児医療	2.0	-	0.1	1.9	-
8. 院内保育	0.7	0.3	0.4	-	-
9. 企業債利息償還金	2.7	1.4	0.1	0.7	0.5
10. 医師等の研究研修に要する経費	0.8	0.5	0.2	0.1	0.0
11. 経営研修に要する経費	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
12. 共済組合追加費用	0.9	0.5	0.3	0.1	0.0
13. 退職手当(交付金)	1.0	-	-	1.0	-
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	15.0	6.3	2.6	4.3	1.8
計	47.2	18.6	8.7	13.5	6.4
企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
合計	48.4	18.6	8.7	13.5	7.6

※ 市からの繰入金は、48.4億円で、リハ病院に係る土地購入の企業債元金償還金に対する繰入金1.2億円は損益収支で収入しないことから、損益収支での収入は47.2億円である。

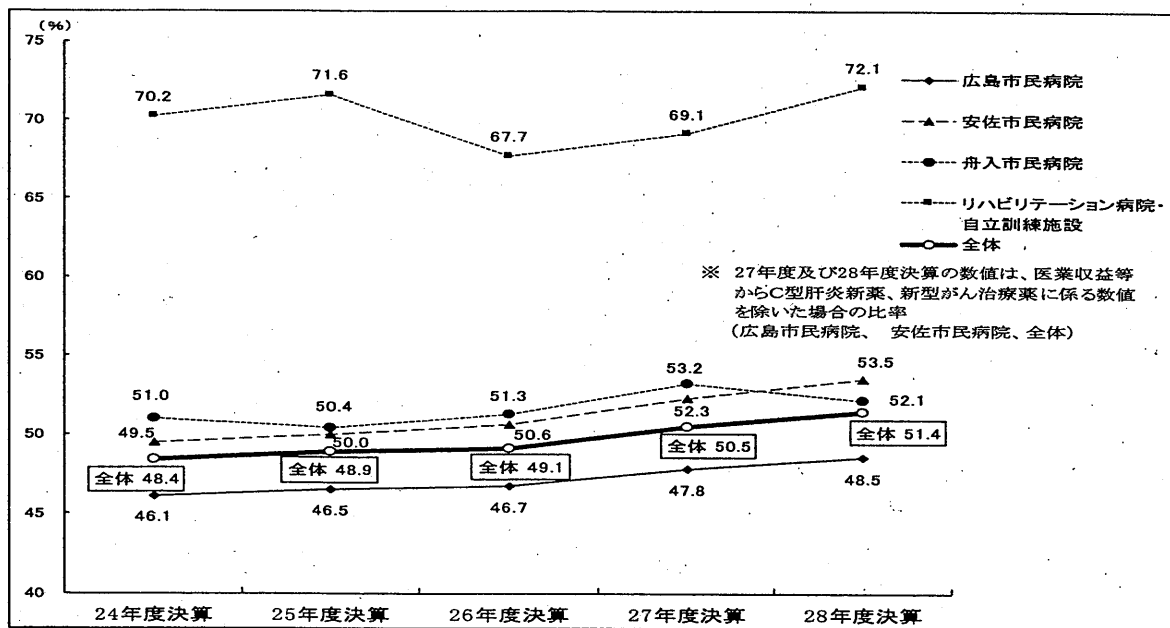
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	131.8	134.0	143.2	148.8	152.8
対前年度増減	-	22	92	56	40
安佐市民病院	75.7	77.8	82.7	85.1	90.0
対前年度増減	-	21	49	24	49
舟入市民病院	19.2	18.6	20.6	23.1	23.5
対前年度増減	-	▲0.6	20	25	0.4
リハビリテーション病院	12.8	13.2	15.5	16.6	17.0
対前年度増減	-	0.4	23	1.1	0.4
計	239.5	243.6	262.0	273.6	283.3
対前年度増減	-	4.1	18.4	11.6	9.7

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/医業収益等)×100

- ・給与費は退職給付費用を除く。また、本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。
- ・医業収益等は、医業収益(「入院収入」+「外来収入」+「その他医業収入」)に「損益収支への繰入金」を加えたものとしており、事業報告書等に記載している「給与費対医業収益比率」とは異なっている。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
医師	44.6	44.7	57.8	60.7	64.8
対前年度増減	-	0.1	13.1	2.9	4.1
看護師	104.4	103.5	110.5	116.8	121.5
対前年度増減	-	▲ 0.9	7.0	6.3	- 4.7
医療技術職	25.2	24.7	31.1	32.9	34.9
対前年度増減	-	▲ 0.5	6.4	1.8	2.0
事務	9.0	9.1	9.3	9.5	10.1
対前年度増減	-	0.1	0.2	0.2	0.6
業務員	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5
対前年度増減	-	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0
嘱託・臨時	46.1	49.9	41.6	43.3	41.3
対前年度増減	-	3.8	▲ 8.3	1.7	▲ 2.0

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
医師	234	235	302	315	328
対前年度増減	-	1	67	13	13
看護師	1,312	1,314	1,322	1,383	1,439
対前年度増減	-	2	8	61	56
医療技術職	340	335	431	462	502
対前年度増減	-	▲ 5	96	31	40
事務	93	97	94	96	107
対前年度増減	-	4	▲ 3	2	11
業務員	9	9	8	8	8
対前年度増減	-	0	▲ 1	0	0
計	1,988	1,990	2,157	2,264	2,384
対前年度増減	-	2	167	107	120

※職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18-1) 材料費

単位: 億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	81.3	87.3	92.2	108.4	105.8
対前年度増減	-	6.0	4.9	16.2	▲2.6
安佐市民病院	38.4	38.9	42.0	47.9	48.7
対前年度増減	-	0.5	3.1	5.9	0.8
舟入市民病院	5.3	5.1	5.8	6.3	6.0
対前年度増減	-	▲0.2	0.7	0.5	▲0.3
リハビリテーション病院	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	0.0
計	125.5	131.8	140.5	163.1	161.0
対前年度増減	-	6.3	8.7	22.6	▲2.1

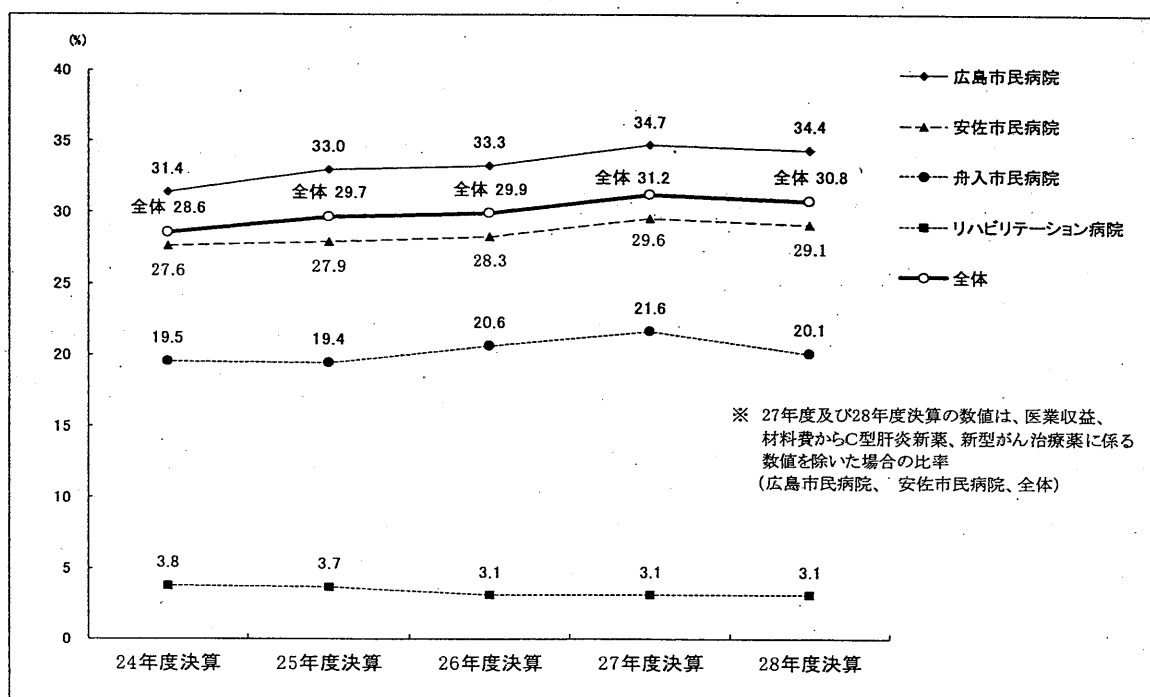
(表18-2) 材料費 (27、28年度決算からC型肝炎新薬等を除いた場合)

単位: 億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	81.3	87.3	92.2	97.3	98.1
対前年度増減	-	6.0	4.9	5.1	0.8
安佐市民病院	38.4	38.9	42.0	43.7	44.6
対前年度増減	-	0.5	3.1	1.7	0.9
舟入市民病院	5.3	5.1	5.8	6.3	6.0
対前年度増減	-	▲0.2	0.7	0.5	▲0.3
リハビリテーション病院	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	0.0
計	125.5	131.8	140.5	147.8	149.2
対前年度増減	-	6.3	8.7	7.3	1.4

※27年度及び28年度からC型肝炎新薬、新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を除いている。

(図2) 材料費対医業収益比率



注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19-1) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	43.3	46.4	49.0	63.9	61.1
対前年度増減	-	3.1	2.6	14.9	▲ 2.8
安佐市民病院	22.8	22.7	24.6	29.2	30.0
対前年度増減	-	▲ 0.1	1.9	4.6	0.8
舟入市民病院	4.4	4.2	4.7	5.1	4.8
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.5	0.4	▲ 0.3
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1
計	70.9	73.7	78.7	98.6	96.2
対前年度増減	-	2.8	5.0	19.9	▲ 2.4

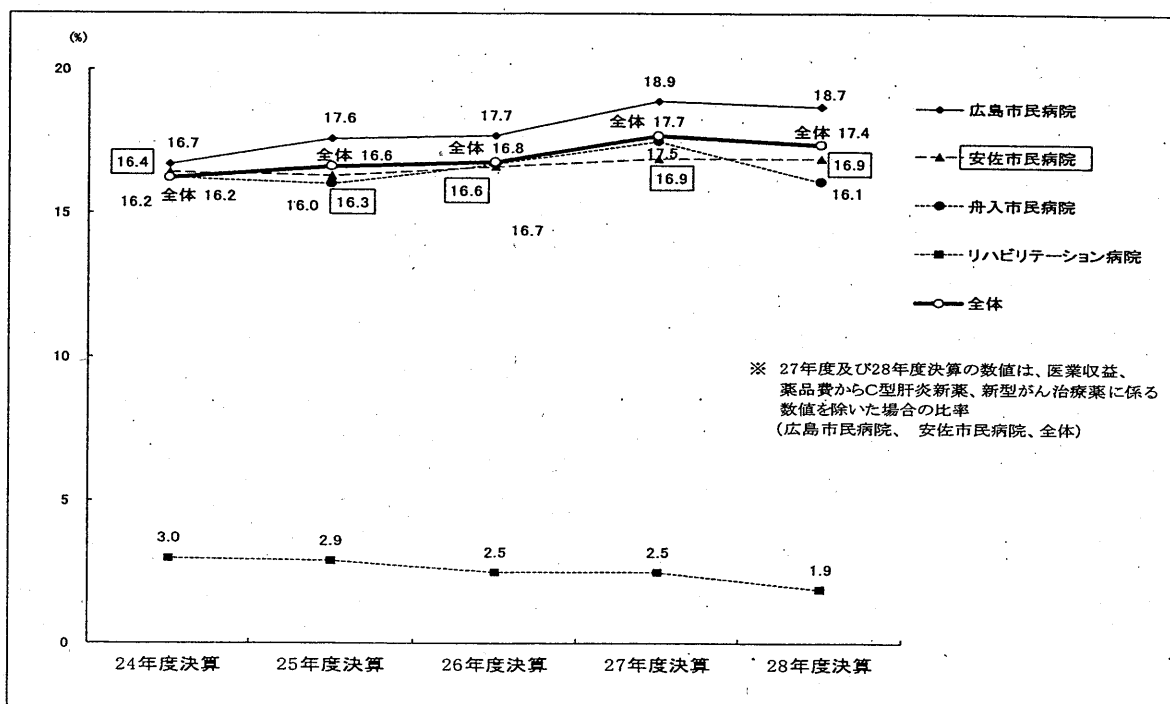
(表19-2) 材料費のうち薬品費 (27、28年度決算からC型肝炎新薬等を除いた場合)

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	43.3	46.4	49.0	53.6	53.4
対前年度増減	-	3.1	2.6	4.6	▲ 0.2
安佐市民病院	22.8	22.7	24.6	25.0	25.9
対前年度増減	-	▲ 0.1	1.9	0.4	0.9
舟入市民病院	4.4	4.2	4.7	5.1	4.8
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.5	0.4	▲ 0.3
リハビリテーション病院	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1
計	70.9	73.7	78.7	84.1	84.4
対前年度増減	-	2.8	5.0	5.4	0.3

※27年度及び28年度からC型肝炎新薬、新型のがん治療薬「オブジーボ」「キイトルーダ」を除いている。

(図3) 薬品費対収益比率



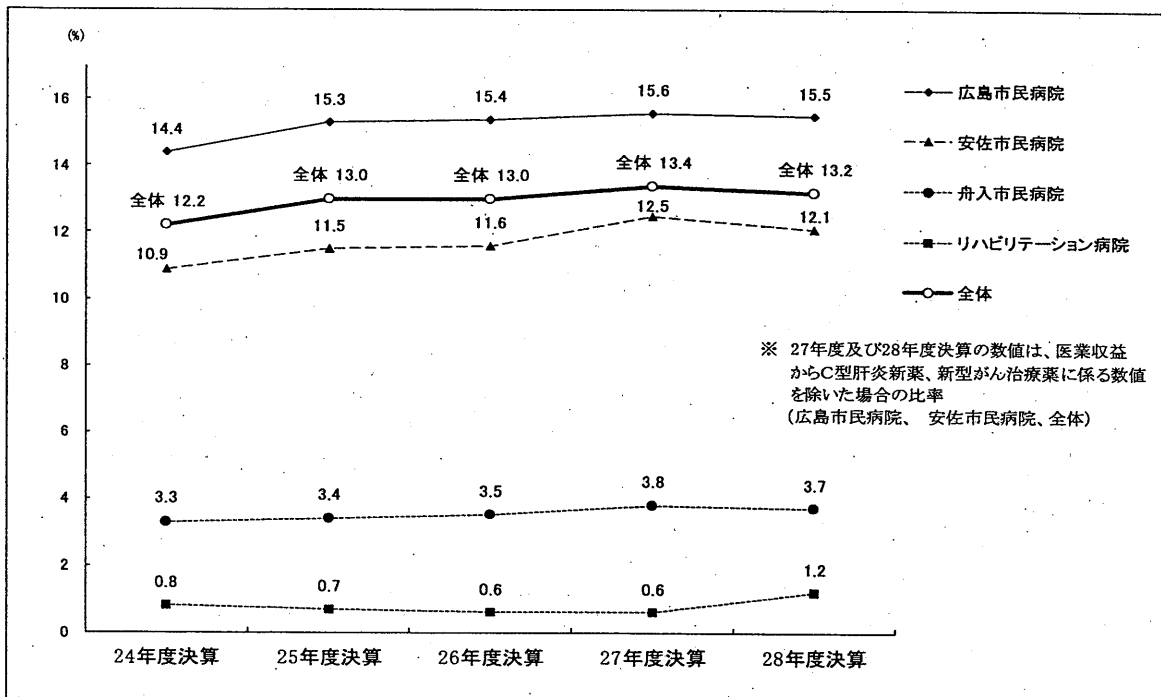
注 薬品費対医業収益比率=[薬品費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	37.3	40.5	42.7	44.1	44.3
対前年度増減	-	3.2	2.2	1.4	0.2
安佐市民病院	15.2	16.0	17.2	18.5	18.6
対前年度増減	-	0.8	1.2	1.3	0.1
舟入市民病院	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.1	0.0
リハビリテーション病院	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0	0.1
計	53.5	57.5	61.0	63.8	64.2
対前年度増減	-	4.0	3.5	2.8	0.4

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率=[診療材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、決算額には一致しない。

(表21) 減価償却費

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	21.7	19.8	18.8	23.4	23.1
対前年度増減	-	▲ 1.9	▲ 1.0	4.6	▲ 0.3
安佐市民病院	7.4	7.7	8.4	10.8	12.3
対前年度増減	-	0.3	0.7	2.4	1.5
舟入市民病院	4.4	4.4	2.7	3.7	4.1
対前年度増減	-	▲ 0.0	▲ 1.7	1.0	0.4
リハビリテーション病院	3.1	3.0	2.0	2.1	2.4
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 1.0	0.1	0.3
計	36.6	34.9	31.9	40.0	41.9
対前年度増減	-	▲ 1.7	▲ 3.0	8.1	1.9

(表22) その他支出

ア 費目別

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
委託料	31.8	32.8	35.9	37.0	39.6
対前年度増減	-	1.0	3.1	1.1	2.6
資産減耗費	0.6	0.8	0.2	0.8	0.3
対前年度増減	-	0.2	▲ 0.6	0.6	▲ 0.5
過年度損益修正損	2.2	2.0	2.2	0.7	0.9
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.2	▲ 1.5	0.2
長期借入金・移行前地方債利息	9.6	8.2	7.7	7.3	6.6
対前年度増減	-	▲ 1.4	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.7
その他	27.3	29.0	32.6	27.7	27.5
対前年度増減	-	1.7	3.6	▲ 4.9	▲ 0.2
計	71.5	72.8	78.6	73.5	74.9
対前年度増減	-	1.3	5.8	▲ 5.1	1.4

イ 病院別

単位:億円

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
広島市民病院	37.3	38.4	41.7	38.8	39.7
対前年度増減	-	1.1	3.3	▲ 2.9	0.9
安佐市民病院	19.3	19.3	20.9	18.6	20.5
対前年度増減	-	0.0	1.6	▲ 2.3	1.9
舟入市民病院	9.4	9.5	9.6	9.8	9.4
対前年度増減	-	0.1	0.1	0.2	▲ 0.4
リハビリテーション病院	5.5	5.6	6.4	6.3	5.3
対前年度増減	-	0.1	0.8	▲ 0.1	▲ 1.0
計	71.5	72.8	78.6	73.5	74.9
対前年度増減	-	1.3	5.8	▲ 5.1	1.4